

## 児童発達支援 事業所における自己評価結果(公表)

公表: 2023年 2月 15日

事業所名 どもサポート教室「クラ・ゼミ」福島校

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	5			
	②	職員の配置数は適切である	5		職員を多くしています。	
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	1	4	段差少しでもなくなるように、絨毯をしています。	建物が古く段差があります
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	3	2	毎日決まった時間の清掃を行っています。	建物が古いので、清掃、消毒をしっかりと行っています。
業務改善	⑤	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	5		話せる時間を取っています。	時間の整理を行い、話せる時間を取るようになっています。
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	5		いろいろなお話を聞く時間を取っています。	
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	5		毎年ホームページ等で公開して、校舎に提示しています。	
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	1	4		行っていないので、保護者様との話をしっかり取り、取り組んでいます。
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	5		内部研修を中心に取り組んでいます。(外部も行っています)	コロナの関係で外での研修が少なくなっているので、今後はコロナの状況に合わせて、取り組んでいきます。
適切な支	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	5		アセスメントをしっかりと行い、計画に活かしています。	いろいろな場面でアセスメントに対応できるように、保護者様と普段から、話せる環境を整えていきます。

援 の 提 供	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	5		『クラ・ゼミ』全体で同じアセスメントシートを使用しています。		
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	5		計画を作成するために、保護者様や学校、相談支援事業所、他の施設等と連携して、支援内容を作成しています。	定期的にいろいろな関係機関に対応しながら、今後でも取り組んでいきます。	
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	5		支援記録の中に個別支援計画がよめるようにしています。	本児に沿った支援計画を作成し、個別療育を行っています。	
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っている	5		職員同士で話し合いながら、取り組んでいます。	情報を共有できるように、ノート等に記入しています。	
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	5			利用児の反応を見ながら、いろいろな課題に取り組んでいます。	
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成している	5		個別療育を進めて、小集団で整えています。	月に1,2階行事(小集団)を行っている	
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	4	1	短い時間で端的にお話をしています。		
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している		5	大事な話はノートに記入したり、次の日に話し合いを持ちます。	話をするときや、話せない時がある	
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	4	1	簡潔に分かりやすく、記入出来るように、取り組んでいます。	その日の内に記入出来るようにしています。	
	⑳	定期的にもモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	5		年間スケジュールを作り進めています。	その月によって取り組む、計画の量が違うので、その都度確認しながら進めています。	
	関 係 機	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	4	1	児発管を中心にその状況に応じて、担当	

関 や 保 護 者 と の 連 携					指導員も参加していません。	
	⑳	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	4	1		いろいろな関係機関と連携と連携して、情報共有を起さない、支援をしています。
	㉑	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている		5		支援をしていない。(現在対象の児童がいません)
	㉒	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている		5		支援をしていない。(現在対象の児童がいません)
	㉓	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	5		保護者様との相談を受けて、学校等に訪問しています。	関係機関と連携して情報共有を行い、資料を提出しています。
	㉔	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	5		保護者様との相談に応じて、小学校へ訪問して校長、教頭、担任と話す時間を取っています。	コロナの影響で、対応が遅くなることがあります。 (学校閉鎖、学級閉鎖等) その都度日時や時間を変更して取り組んでいます。
	㉕	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	3	2	センター等に訪問に行っています。	
	㉖	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある		5		こども園などに行き、「クラゼミ」での活動を報告している
	㉗	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	3	2	ZOOMでの参加を行っています。	コロナの影響で直接の参加が出来ていません。
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	5		保護者様と支援後に話す時間を取っています。	事業所内相談を行っています
㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	4	1	児童指導員や児発管との時間を取っています。		

保護者への説明責任等	③②	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	5		規定の変更がある時は、その都度お知らせしてサインをいただいています。	契約時に『クラ・ゼミ』の内容については説明しています。
	③③	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	5		1つ1つの支援目標や支援内容を丁寧に説明しています。	保護者様の要望や利用児の状態を見ながら、取り組んでいます。
	③④	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	5		保護者様の希望に沿えるようにしています。	事業所内相談を行っています
	③⑤	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	1	4	コロナの影響で保護者様同士の接触の機会がすくないので、行事で行っています。	集団行事で少し話す時間があります
	③⑥	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	5		お母さん（保護者様）の希望に沿うようにしています。	事業所内相談を行っています
	③⑦	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	4	1	行事や連絡等は、定期的に行っています。	
	③⑧	個人情報の取扱いに十分注意している	5		外の関係機関に個人情報を持っていくときは、保護者様に確認をしています。	
	③⑨	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	5			個人個人に合わせて、取り組んでいます。
	④⑩	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	2	3		コロナの影響で呼ぶ機会がありません。
	非常時等の対応	④⑪	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	5		
④⑫		非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	5		個別なので1年間で、全員が参加できるように取り組んでいます。	毎月定期的に訓練を保護者様と利用児、職員等で行っています。
④⑬		事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	5			薬の情報と確認を行っています。

④④	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている		5		食物アレルギーの利用児がいないので、現在是对応していません。
④⑤	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	5			ヒヤリハットが数件があるので、その都度話し合う時間を取っています。
④⑥	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	5		年に一度外部の講師の方に、研修をお願いしています。	虐待防止委員会の時間を持っています。
④⑦	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	5			保護者様と利用児に説明し、個別支援計画に記載しています。（現在該当する利用児はいません）

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。

## 児童発達支援 保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)

公表: 2023年 2月 15日

事業所名: こどもサポート教室「クラ・ゼミ」福島 校 保護者等数(児童数): 11 回収数: 7 割合 63 %

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	6	1				
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	7					
	③	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	4	2		1	・子どもにとっての環境は整っている ・バリアフリー化はよくわからない	・利用児が安全に療育が出来るように、今後も取り組んでいきます。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境となっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	5	2				整理整頓に心掛けて、今後も継続して消毒、検温、換気を整えていきます。
適切な支援の提供	⑤	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	7					
	⑥	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	6			1		
	⑦	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	7					
	⑧	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	6	1			毎回全て同じではないが、子どもが課題を覚えていて苦手なものを避けたがるようになっている	好きな課題や苦手な課題の両方に取り組めるように、今後も継続して取り組んでいきます。
	⑨	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	3	1	2	1	支援としてはないが、毎日幼稚園に通っている	コロナの影響で幼稚園等との交流が出来ていない状態です。



の 対 応	⑲	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	6					
満 足 度	⑳	子どもは通所を楽しみにしているか	6				・毎回楽しみに通所している ・毎月のように「今日はクラゼミ行く？」と聞かれる	
	㉑	事業所の支援に満足しているか	6				満足している	

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。